

建災防とちぎ

No.153
2025.12

建設業労働災害防止協会 栃木県支部 〒321-0933 宇都宮市築瀬町 1958-1 栃木県建設産業会館 TEL 028-639-3133

技能講習、特別教育等の資格の取得は建災防で！



CONTENTS

- 令和7年度 建設業年末年始労働災害防止強調期間実施要領 2
- 第62回全国建設業労働災害防止大会が開催 3
- 写真で学ぼう安全衛生管理！Part42 6
- 事務局だより 7
- トピックス 8



技能講習・特別教育等のご案内(1月~3月)▶ P7参照



令和7年度 建設業年末年始労働災害防止強調期間実施要領

本期間：令和7年12月1日～令和8年1月15日

●会長メッセージ

令和7年度の建設業年末年始労働災害防止強調期間を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

当協会では、年末年始の労働災害の防止を目的に、本年度も12月1日から1月15日までを「建設業年末年始労働災害防止強調期間」と定め、会員各位が取り組むべき事項を盛り込んだ本実施要領を作成いたしました。

建設業における労働災害は、会員各位をはじめとする関係者の熱意と日々の自主的な労働災害防止活動により、その発生件数は長期的には減少傾向にあります。しかしながら、全産業死亡災害の約3割を建設業が占めており、依然として厳しい状況に変わりがありません。

例年12月は労働災害の多発する時期であり、特に年末年始は、長期の休業前の慌ただしい中での作業や休業後に生活リズムが戻らない中で作業が行われることがあるなど、労働災害の発生リスクが高まることが懸念されます。

このような状況を踏まえ、今一度、自社の労働災害防止活動の取組みの再確認を行い、令和5年に策定した第9次建設業労働災害防止5か年計画の重点事項を踏まえた、リスクアセスメントの確実な実施、「建設業労働安全衛生マネジメントシステム」(コスマス)の積極的な導入・運用、重篤度の高い労働災害を減少させるための重点対策の推進、安全衛生教育の推進、高年齢作業者の労働災害防止対策、メンタルヘルス対策及び化学物質による健康障害防止対策の推進などについても併せて取組みを進めていただきたいと思います。

会員各位をはじめ関係者が一丸となって本実施要領に示された事項に取り組んでいただき、「無事故の歳末 明るい正月」のスローガンの下、無事故・無災害の“憧れの建設業”で新しい年を迎えられますよう、心より祈念申し上げます。

令和7年11月

建設業労働災害防止協会

会長 今井 雅則

●趣 旨

年末年始は長期の休業前の慌ただしい中での気持ちの焦りや、休業後に気持ちの切換えが追い付かない中で引き起こされる不安全行動など、労働災害防止に特別の配慮が必要である。当協会は、会員各位とともに年末年始の労働災害を防止することを目的に、本年度も12月1日から1月15日までの間を「建設業年末年始労働災害防止強調期間」として、「無事故の歳末 明るい正月」のスローガンの下に展開する。経営トップ、店社及び建設現場の管理者等の関係者は緊密な連携を図り、安全衛生水準の一層の向上を目指し、安全衛生活動の強化を図るものとする。

●会員が実施する事項

会員は、本強調期間の趣旨・目的を踏まえ、次の事項を参考として、企業の実態に即した実施計画を作成し、積極的に安全衛生活動を実施する。また、労働災害防止対策を実効あるものとするため、リスクアセスメントの結果に基づき定めたリスク低減措置を確実に実施する。安全衛生活動の実施にあたっては、「建設業労働災害防止規程」、「第9次建設業労働災害防止5か年計画」及び「令和7年度建設業労働災害防止対策実施事項」に定める「建設現場における主要災害防止の具体的対策」等も活用する。

- 1 経営トップ等による現場点検の実施
- 2 墜落・転落災害の防止
- 3 建設機械・クレーン等災害の防止
- 4 倒壊・崩壊災害の防止
- 5 交通労働災害の防止
- 6 火災・爆発等災害の防止
- 7 転倒災害の防止
- 8 不安全行動による災害の防止
- 9 公衆災害の防止
- 10 積雪・雪崩災害の防止
- 11 職業性疾病の防止
- 12 化学物質に関する健康障害の防止
- 13 メンタルヘルス対策の推進
- 14 健康確保対策の推進
- 15 作業所閉所中の対策

第62回全国建設業労働災害防止大会が開催



全国建設業労働災害防止大会が、10月2、3日に兵庫県神戸市のワールド記念ホールで開催されました。

同大会は「その行動は大丈夫 一度止まって再確認 仲間意識で声掛け励行」のスローガンのもと、全国各地から多くの方々が集い、2日間を通して総勢7,000人を超える方々が参加されました。当支部からも谷黒支部長をはじめ、安全衛生委員及び事務局として17名が参加をしました。

大会の総合集会においては、谷黒支部長が本部理事として登壇、今井雅則会長が挨拶を述べられ、厚生労働大臣、国土交通大臣、兵庫県知事及び神戸市長の祝辞へと続き、その後各支部から推薦された方々の安全衛生表彰、安全の誓い、厚生労働省労働基準局講演が行われました。

第2部では、神戸華僑總會舞獅隊によるアトラクション「獅子舞」が行われました。また、大阪芸術大学放送学科教授で元NHKアナウンサーの住田功一氏による「阪神・淡路大震災30年 若い世代にどう語り継ぐのか」と題した講演が行われました。

会場には、安全衛生保護具や測定機器、安全標識等の展示会も併設され、当支部参加者も熱心に視察をされていました。

また、次の日には会員建設企業等による研究発表を行う専門部会（建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、コスマス部会／自然災害部会）が開催されました。当支部会員企業からも（株）田中工業の小口氏が「中小規模の強みを活かした安全衛生の取り組みー社員を守り魅力ある会社へー」と題して、コス



発表風景（小口氏）



（株）田中工業のみなさん

モス部会で発表されました。

次回の第63回全国大会は10月8、9日に新潟県で開催となります。初日の総合集

会では、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全功労者などの表彰、安全の誓いの採択、記念講演などを、二日目の専門部会では、会員企業などが取り組み、成果をあげた最新の安全衛生管理活動の発表などを行います。

今回ご多忙の中、代表として出席を頂きました役員の方々には感謝申し上げると共に、当支部会員企業の労働災害防止活動に大いに役立てて頂ける機会となったものと推察するところであります。

全国建設業労働災害防止大会参加報告書

● 安全衛生委員会委員長 藤 田 榮

神戸ワールド記念ホールにて10月2・3日の2日間に亘って建災防全国大会が開催され、谷黒支部長・竹澤副支部長と共に安全衛生委員会が参加しました。

今回の特別講演は、住田功一先生（大阪芸術大学教授）の『阪神・淡路大震災30年 若い世代にどう語り継ぐのか』をテーマに、震災から30年を振り返り、偶然にも震災に地震が遭遇被災した経験や生命の尊さ、建設業者の活躍とその後の復興の経過を事細かく解説なされていました。これから後世（次の世代）に語り継ぐ必要性と手法に取り組んでいる状況も紹介されました。

ここで建設業の活躍も紹介されましたが、我々建設業界は、常に自然災害と向き合って、事あるごとに昼夜休祭日を問わず地域のためにライフラインの保全や、地域住民の安全確保に努めています。阪神淡路に限らず東日本大震災・平成27年の関東東北豪雨・令和元年東日本台風等においても被災中の保全活動、被災後の応急復旧には、我々建設業者が24時間体制で関わったこと、その後の本復旧にも甚大な労力を惜しまずに関わってくれた社員と作業員の有難さが忘れられません。「阪神・淡路大震災30年」は住田先生の講演を踏まえて建設業の絶対的な役割の必要性を改めて実感いたしました。

2日目のコスマス部会においては、栃木県宇都宮市から(株)田中工業の小口氏の発表がありました。題して『社員を守り魅力ある会社へ』・・・そうなんです。社員を守るのは、会社の義務であり社員の安全は代表者の切実な願いなのであります。

自分も過去50余年叩き上げから会社の代表まで勤

めてきましたが、社員の安全・地域の安全に心がけて過ごしてまいりました。その間、自然災害や現場災害も経験してまいりましたが、小口氏のような会社の安全部門を託せる人材を育てる事が出来ませんでした。人は財産です。田中社長、小口氏をしっかりと守りそして次の人才培养に向けてバックアップ隊をさらに充実し、貴社の益々の発展とこれからも安全で魅力のある会社であることを祈念して、建災防全国大会in神戸の報告とさせていただきます。

● 安全衛生委員（塩谷） 大 谷 和 久

阪神・淡路大震災から30年という節目で開催された全国建設業労働災害防止大会in兵庫に10月2日、3日と参加させていただきました。

総合集会、専門部会が開催され、総合集会は会長及び来賓の方の挨拶、各安全衛生表彰、安全の誓い、厚生労働省労働基準局の講演からなるプログラムの順で行われました。特別講演は元NHKアンサーの住田功一氏による『阪神・淡路大震災30年若い世代にどう語り継ぐのか』でした。震災発生時に帰省されており他局に先駆け震災発生の第一報を全国に報道した事や、報道リポーターとして自身が遭遇し生死を分けた経験、阪神・淡路大震災を通して命の尊さを後世に伝えていく事などが話され、私自身も疑似体験したかのような講演でした。また、同会場内で安全衛生保護具・安全標識等の展示会が行われており、熱中症対策品、フルハーネス、昇降設備等の各メーカーの説明を伺いました。今年は軽量ヘルメットが気になりメーカーに説明頂き、今後の保安材導入の検討ができました。

2日目の専門部会は、建築部会、土木部会、安全

衛生教育部会、低層住宅部会、コスモス部会／自然災害部会に分かれており、興味のある発表を聞くことができました。コスモス部会での発表には、栃木県から同支部会員である（株）田中工業様が発表し、安全衛生委員皆で聞かせてもらいました。題目は『中小規模の強みを活かした安全衛生の取り組み』で、コンパクトコスモスを取り入れ自社に合った安全衛生目標・活動を設定し、社内の安全衛生活動の活性化が見える報告を拝聴させていただきました。若い世代・女性による活動計画は、自分も見習う点が多く今後の参考になりました。残り時間は土木部会の発表に参観させていただきました。ICT活用による施工はもちろんの事、安全衛生対策の取り組みは我々中小・零細企業の工事とは規模が異なるため違いを感じました。しかし、現場所長が話す当該工事では労働災害をいかに起こさないようにするか？の気持ちは同じだと感じ、志は負けないよう日々安全作業に取り組み、社員の安全は社長が守る！の意思を強く持たせてもらいました。

今回の全国建設業労働災害防止大会での経験を踏まえ、安全に対する知識・意識を向上することができました。現場パトロール実施の際は、得た知識を現場で水平展開していき分会活動に役立てていきたいと思います。

● 事務局 中村純也

私は10／2,3に兵庫県で開催された第62回全国建設業労働災害防止大会に安全衛生委員の方と共に事務局として参加しました。

1日目はワールド記念ホールで総合集会が行われ、安全衛生功労者に対する表彰や、特別講演「阪神・淡路大震災30年 若い世代にどう語り継ぐのか」との演題で住田氏による、今を生きる私たちが

過去から学び、それを未来に活かす必要があるとの話を聞き、大いに考える機会となりました。

2日目は神戸国際展示場で専門部会が行われました。各安全衛生委員の方は、ご自身の会社（建築や土木など）に関連する部会に参加して、熱心に各会社の発表を聞いておりました。良い面は参考にして、自社に持ち帰って、それを分会、最終的には栃木県の安全衛生水準が上がっていくことに繋がっていくと思います。

そして専門部会で誇らしかったことがあります。コスモス部会の発表に、会員企業である（株）田中工業様が堂々とした発表を披露したことです。

演題は「中小規模の強みを活かした安全衛生の取り組み一社員を守り魅力ある会社へー」で栃木県で、2例目となるコスモス認定の挑戦や認定取得からシステム運用についてと、どんな方が聞いてもなるほどと思うと同時に、聞いている人の心を掴む発表でした。

また、個人的に神戸港震災メモリアルパークにも足を運びました。阪神・淡路大震災の悲惨さを今に伝える公園になります。震災で壊滅した岸壁や傾いた街灯が当時のままの状態で保存してあり、復興までの過程も知ることができます。よくあの状態から、ここまで復興したと、人間って凄い、建設業ってやっぱり凄い、かっこいいと改めて感じました。

最後になりますが、労働災害はあってはならないことです。朝、「行ってきます」と言って仕事に向かった家族が、帰って来ないこんな悲惨なことはありません。

私ども建災防の役割は、建設業の労働災害を減らすことです。今回参加して、その気持ちが一層強くなりました。皆さんと共に、安心して働く職場（現場）を作っていくべきだと思います。

Part
42

写真で学ぼう安全衛生管理!

建災防本部では、現場で撮影した写真に解説(優良事項・改善事項)と根拠法令などを加えたテキストを作成・販売しております。今般、その中の一部を抜粋しましたので、安全パトロールの参考書や安全対策の「見える化」の推進などに活用いただければ幸いです。なお、テキストをご用命の際は栃木県支部までお問い合わせください。



- ☒ 昇降階段と墜落防止柵（単管柵）の間にトラロープを張っているが、繊維ロープでは墜落防止措置になっていない。

出典：建設業労働災害防止協会 目で見る安全（土木工事編 2）



- トラロープに替えて、両側に単管てすり(2段)を設置して墜落防止措置を行った。

出典：建設業労働災害防止協会 目で見る安全（土木工事編 2）



- ☒ 通路上の敷き鉄板に段差があり、作業者がつまずいて転倒するおそれがある。

出典：建設業労働災害防止協会 目で見る安全（土木工事編 2）



- 敷き鉄板の段差をなくし、鉄板同士が動かないよう溶接で固定している。

出典：建設業労働災害防止協会 目で見る安全（土木工事編 2）



- ☒ 現場内での駐車状態が出船入船方式になっていないため、緊急時に後退・方向転換等で接触事故を起こす危険がある。

出典：建設業労働災害防止協会 目で見る安全（土木工事編 2）



- 車両全てを出口へ向けて出船駐車とし、後方のバリケードに駐車ルール(注意事項)を掲示、後退時・方向転換時の事故発生を防止した。

出典：建設業労働災害防止協会 目で見る安全（土木工事編 2）

建災防事務局だより

技能講習・特別教育等のご案内〈1月～3月〉

令和7年度冬期講習会のご案内をいたします。栃木県支部で受け付ける講習会は開催日の1ヶ月前からです。また、分会で受け付ける講習会については、各分会窓口に直接お問い合わせください。

定期講習会の変更や臨時に講習会を開催する場合がありますので、建災防栃木県支部のホームページでご確認ください。

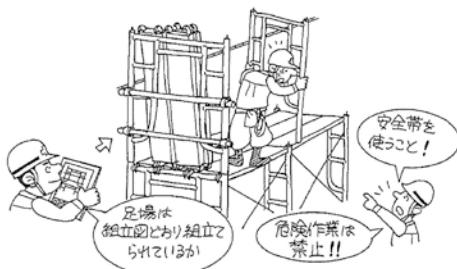
作業主任者技能講習

※助成金対象



○地山の掘削及び土止め支保工	1/28～30	栃木県支部
○足場の組立て等	2/26～27	栃木県支部
○木造建築物の組立て等	2/19～20	栃木県支部
○コンクリート造の工作物の解体等	1/20～21	栃木県支部
○石綿	1/ 6～ 7	栃木県支部
	3/ 9～10	栃木県支部
○特定化学物質及び四アルキル鉛等	2/12～13	栃木県支部

(CPDS対象)



運転技能講習

※助成金対象

○車両系建設機械(解体用)	2/ 4	栃木県支部
○小型移動式クレーン	3/ 4～ 6	栃木県支部



特別教育

※助成金対象

○小型車両系建設機械(整地等)	1/15～16	栃木県支部
-----------------	---------	-------

その他の教育



○元方安全衛生管理者能力向上教育	3/ 6	栃木県支部
○施工管理者等足場点検実務者研修	1/19	栃木県支部
○建築物石綿含有建材調査者講習(一般)	1/16	栃木県支部
【再修了考査】		
○建設従事者教育	随時実施	

Topics



9月12日(金)締固め用機械(ローラー)特別教育



10月6日(月)安全衛生推進者養成講習



10月9日(木)法面ロープ高所作業特別教育



10月22日(水)建築物石綿含有建材調査者講習(一般)



10月28日(火)建設従事者教育



11月14日(金)日光分会パトロール



11月19日(水)安蘇分会パトロール



11月19日(水)職長・安全衛生責任者教育